

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

—— 2022 年 4 月号 No. 307

4 月 15 日（金）発行 ——



春に舞う蝶 「学名」をたどると

季節は一気に進み、昆虫の世界も動き始めています。厳寒を耐え、成虫で越冬したタテハチョウ科の仲間が、元気に舞っています。

さて、上の写真はエルタテハ。その学名は、「*Nymphalis vaualbum samurai*」。なんと亜種名に「サムライ」の名がつきます。そして左のクジャクチョウ。学名は、「*Inachis io geisha*」。こちらは「ゲイシャ(芸者)」です。妖艶な姿をたとえたのでしょうか、興味は尽きません。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（3/15～4/14） ☆☆☆



【ワタスゲ】

カヤツリグサ科 綿菅

早春のミズゴケ湿原にいち早く咲きます。よく紹介される白い綿毛はこの「実」に当たります。



【ハンノキ】

カバノキ科 榎の木

葉を出す前に、象の鼻のような雄花が開いて花粉を出しています。花粉症気味の方はご注意ください。



【アキタブキ（フキノトウ）】

キク科 秋田路

春を感じるおなじみの植物。花の構造が微妙に異なる、雄株と雌株があります。



【エゾエンゴサク】

ケシ科 蝦夷延胡索

日当たりのよい箇所では既に咲き始めました。花の色のグラデーションも美しい植物です。



【エゾアカガエル】

アカガエル科 蝦夷赤蛙

オスたちの大合唱は今がピーク。カエルらしくない声なので、「何の声？」とよく尋ねられます。

もうすぐ見られるかも！



2021年5月8日撮影

【エゾオオサクラソウ】鶴居軌道跡にひっそりと咲きます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（3/15～4/14） ☆☆☆

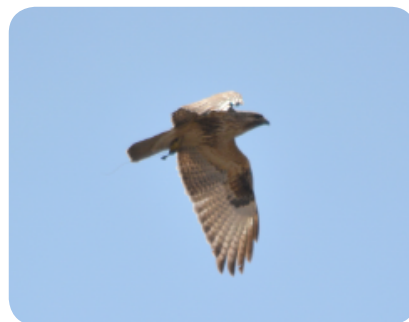
釧路湿原には今年も続々と夏鳥が繁殖のために渡ってきています。今号から、紹介する野鳥の種ががらりと変わってきますので楽しみに。またビジターセンター周辺などでは、ヒガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラといったカラ類などの留鳥の囀りや、キツツキ類のドラミングが賑やかに聞こえてきています。



【オオジュリン】 夏鳥
ホオジロ科 大寿林
真っ先にやって来る夏鳥です。頭部が完全に夏羽になっていないオスが湿原に集まってきています。



【ベニマシコ】 夏鳥（一部越冬）
アトリ科 紅猿子
紅色をしたオスがヨシの隙間から姿を見せてくれました。「ピッポ…」という声が特徴的です。



【ノスリ】 留鳥
タカ科 鷹
珍しく地面から飛び立っていきました。写真を拡大してよく見ると、カエルをつかんでいました。

○温根内木道周辺で観察された花と鳥（3月15日～4月14日）

花（和名は五十音順）		13	ヒメイチゲ	9	コゲラ	22	ゴジュウカラ
1	アオイスミレ	14	フクジュソウ	10	オオアカゲラ	23	キバシリ
2	アキタブキ	15	ミズバショウ	11	アカゲラ	24	ミソサザイ
3	エソエンゴサク	16	ワタスゲ	12	クマゲラ	25	ツグミ
4	エソネコノメソウ	鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）		13	ハシボソガラス	26	ノビタキ（4/10 初認）
5	ガンコウラン	1	ヒシクイ	14	ハシブトガラス	27	ハクセキレイ（4/8 初認）
6	キタミフクジュソウ	2	オオハクチョウ	15	ワタリガラス	28	カワラヒワ（4/10 初認）
7	キヌヤナギ	3	ミコアイサ	16	ハシブトガラ	29	マヒワ
8	ケヤマハンノキ	4	アオサギ	17	ヒガラ	30	ベニマシコ（3/30 初認）
9	チシマネコノメソウ	5	タンチョウ	18	シジュウカラ	31	カシラダカ
10	ナガバヤナギ	6	トビ	19	ヒヨドリ	32	オオジュリン（3/30 初認）
11	バッコヤナギ	7	オジロワシ	20	ウグイス（4/14 初認）		
12	ハンノキ	8	ノスリ	21	エナガ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「春の足音を聴きに行こう」4月10日 参加者：12名 講師：藤原伸也（VC）

季節を先取りするような陽気になったこの日、湿原に訪れた春を探しに行く散策会を行いました。（実に、4か月ぶりのふれあい行事です！）さてこの時期、野鳥の囀りとともに、湿原に響き渡る不思議な声の正体はエゾアカガエル。しかし、参加者が近づくとすぐに鳴くのをやめてしまい、意外に周囲を注意深く見回していることがわかりました。木道を進んで行った先では、今花粉を出しているハンノキに注目し、雄花と雌花の仕組みを観察しました。またその枝に



は、シジミチョウの仲間、ミドリシジミの卵が見つかり、講師が手ほだきすると、コツを掴んだ参加者自身も、大きさ1mm程度の卵を次第に見つけられるようになっていきました。また、湿原では繁殖のためにやってきたノビタキのオスの姿も見られ、参加者を楽しませてくれました。そしてビジターセンターに戻る直前には、講師の足元に突如エゾアカガエルが現れ、参加者らは驚きつつも、間近で見るその姿に感動を隠せない様子でした。



☆☆☆☆ **お知らせ 木道が新しくなりました！** ☆☆☆☆

冬期間、通行止めとしていた区間の木道の改修工事がこのたび終了しました。現在、すべての区間が通れる状態です。新しくなった木道でぜひ、早春の湿原散策をお楽しみください。

また、今後も老朽化した木道を順次改修していく予定です。その際はご協力とご理解をよろしくお願いいたします。



☆☆☆☆ **温根内ビジターセンター 新メンバーの紹介** ☆☆☆☆

はじめまして。4月から、温根内ビジターセンターのスタッフに加わりました、^{さのあやね}佐野綾音と申します。

昔から野鳥や動物が好きで、ご縁もあって釧路湿原という世界にちょっぴり足を踏み入れ、興味を持つうちに、野鳥だけではなく、植物やそれらを取りまく環境にすっかり魅せられて現在に至ります。



道東の野生鳥獣というと、タンチョウやオジロワシ・オオワシなどが有名ですが、双眼鏡を手に、ビジターセンター周辺を散策するだけで、とても多くの野鳥や小動物に出会うことができます。双眼鏡でみた姿と図鑑を照らし合わせていくと、それらの動物たちがより身近に感じられると思います。私のおすすめは、胸元の鮮やかなオレンジと、美しいさえずりが特徴的なノビタキです。これからの季節、湿原は生命感を増し、緑も輝いてきます。ぜひ、釧路湿原に訪れていただいて、春の息吹を感じていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

☆☆☆☆ イベントのご案内 (5月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

新型コロナウイルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前にご確認ください。

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕 5月22日(日) 8:00～10:00 〔定員〕 10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 無料

〔場所〕 温根内ビジターセンター駐車場

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わいです。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。バードウォッチング初心者さんも歓迎します！

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪春の展望台散策会

〔日時〕 5月7日(土) 10:00～12:00 〔定員〕 10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 無料

〔集合場所〕 サルボ展望台駐車場

～アメリカミンクに注意を～

アメリカミンクが繁殖期のため活発に活動しています。見かけても絶対に触ったり、エサを与えたりはしないでください。本種は特定外来生物です。

許可なく捕獲したり譲渡したりすることは法律で禁じられています。



.....
月刊 温根内通信 No. 307

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

← メールアドレスが新しくなりました！

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00 (11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料
.....